

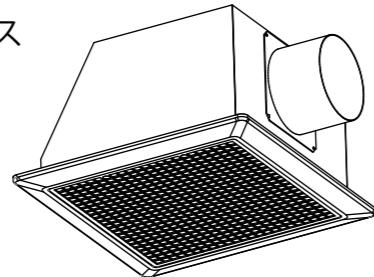
据付工事説明書

室内空気環境
ソリューションカンパニー



電子式集塵フィルタ付き吸気ボックス

FB50JB



安全上のご注意

ご使用前によくお読みのうえ、必ずお守りください。

ここに示した注意事項は、据付工事をする人やお使いになる人への危害、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただきたい内容です。
誤った取扱いをしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分しています。



誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



次の場所には設置しないでください。
・可燃性ガス、爆発性ガス・腐食性ガスのある場所。

・「火気厳禁」と指定されている場所。
・オイルミストの発生する場所。
・金属製のほこりが発生する場所。
・水蒸気の発生する場所。
・湿度の高い場所。
・燃えやすいものの近く。
・塩分のある場所。

このような場所に設置すると、火災・感電・故障のおそれがあります。

本製品や配線に水をかけないでください。
火災・感電のおそれがあります。

引火性のもの（ガソリン・ベンジン・シンナーなど）を本製品の近くに置かないでください。
火災・やけど・けがのおそれがあります。

吸込口・メンテパネル内に異物を入れないでください。液体・粉末状のもの・金属片などの異物を入れないでください。

火災・感電のおそれがあります。

吸込み口のそばで、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。

火災・やけど・けがのおそれがあります。

交流 100V(AC100V)で使用してください。
火災・感電・故障のおそれがあります。

電源接続は確実に行ってください。
接続が不完全ですと、感電や発熱による火災のおそれがあります。

本製品の配線工事は、電気工事の資格のある人が行ってください。
火災・感電のおそれがあります。

長期間使用しない場合は、必ず単独または専用のブレーカーを切ってください。
火災・漏電・感電のおそれがあります。

据付工事の際は、指輪・ブレスレット・腕時計・ネックレスなどの装身具を外してください。
感電・けがのおそれがあります。

据付工事の際は、必ず主電源スイッチを切り、単独または専用のブレーカーを切ってください。
感電・けがのおそれがあります。

据付工事の際は、電子式集塵フィルタ・電源ボックス・ルーバー等を落下させないでください。
火災・感電・けがのおそれがあります。

異常や異音・異臭が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。
火災・感電・けがのおそれがあります。



誤った取扱いをしたときに、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。



本製品の近くに精密機械を置かないでください。
精密機械が故障するおそれがあります。



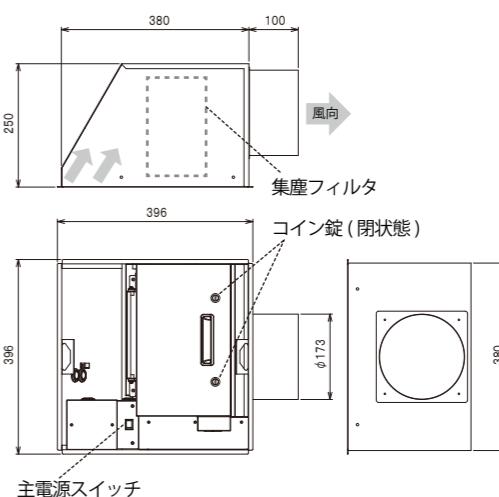
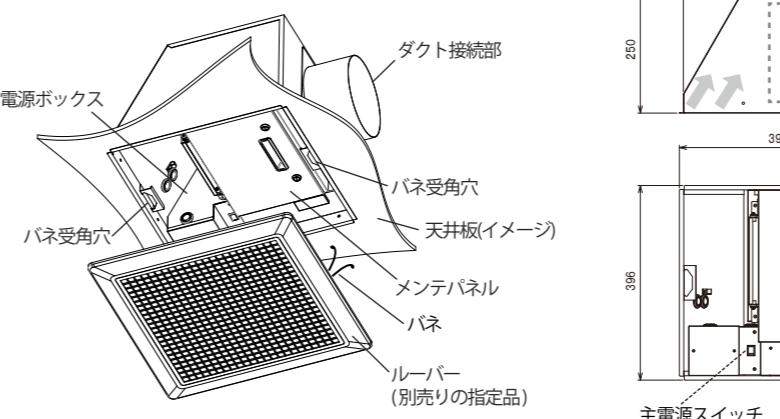
据付工事の際に電子式集塵フィルタ等に指を入れないでください。
けがのおそれがあります。

取付用ネジは、確実に締め付けてください。
製品の変形・破損や落下により、けがをするおそれがあります。

電源接続は必ず単独または専用のブレーカーに接続してください。
製品の接続されたブレーカーが不明ですと、点検・修理ができない可能性があります。

- 本製品の性能と安全を確保するために、この据付工事説明書をよくお読みいただき、手順通りに正しく据え付けてください。
- 本製品の配線工事は、電気工事の資格をお持ちの方が行ってください。
- この説明書に表記される△警告・△注意・<据付工事上の注意>は、据付工事する上で重要な内容が記載されていますので、注意深く読み、よく理解してから作業してください。

① 各部の名称 / 仕様



製品仕様

品名	電子式集塵フィルタ付き吸気ボックス
型式	FB50JB
外寸寸法	全幅 (W) 396mm 奥行き (D) 396mm 高さ (H) 250mm
重量	約10kg
定格風量	400~500m³/h
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	約12W
材質	塗装部: 黒、スチール(亜鉛メッキ鋼板) 本体部: スチール(亜鉛メッキ鋼板)

集塵効率 (製品単体で測定※1)

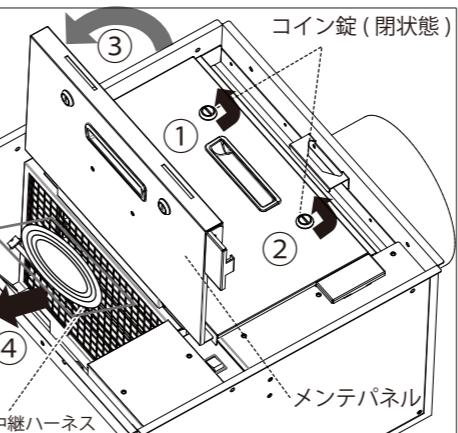
風量	300m³/h	400m³/h	500m³/h	
粒子径 [μm]	0.3~0.5	76.0%	57.0%	45.0%
0.5~1.0	82.5%	66.5%	52.5%	
1.0~2.0	86.0%	75.5%	64.0%	

※1: 各風量における製品単体でのパーティカルカウンタによる計測(大気塵にて)

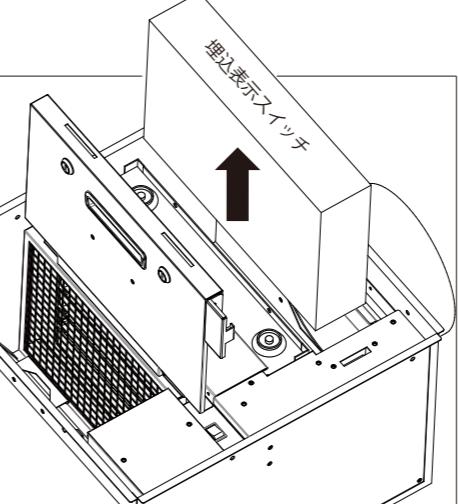
② 付属品の取り出し

製品内に施工に必要な埋込表示スイッチ、中継ハーネスが入っています。
下記手順に従って取り出してください。

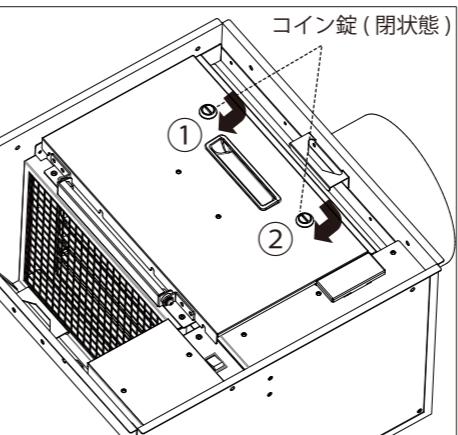
手順1 左右のコイン錠を「閉」から「開」にして、メンテパネルを開けます。
中継ハーネスを取り出します。



手順2 埋込表示スイッチの梱包を取り出します。



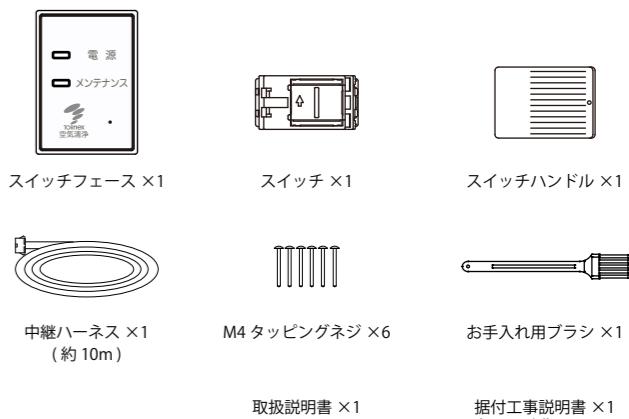
手順3 メンテパネルを閉じて、左右のコイン錠を「開」から「閉」にして終了です。



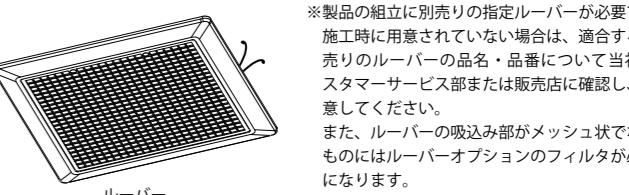
③ 必要部材確認

開梱した際に吸気ボックス本体以外に、下記必要部材があることをご確認ください。

付属品一覧



別売り品



※製品の組立に別売りの指定ルーバーが必要です。
施工時に用意されていない場合は、適合する別売りのルーバーの品名・品番について当社カスタマーサービス部または販売店に確認し、用意してください。
また、ルーバーの吸込み部がメッシュ状でないものにはルーバーオプションのフィルタが必要になります。

※配線に必要な電源コード (WVF ケーブル 1.6mm 3芯) やダクト接続に必要なアルミテープやコーキング材などについては、施工業者にて手配が必要です。

ご不明な点や疑問等あれば
下記宛先にご連絡ください。

お問い合わせ先
株式会社トルネックス カスタマーサービス部
〒116-0003 東京都荒川区南千住7-20-7

0120-926186
03-3891-6781

電話受付時間：9:00~17:30
※土日祝及び夏期休暇・年末年始を除く

FB50JB/T2506

据付工事説明書

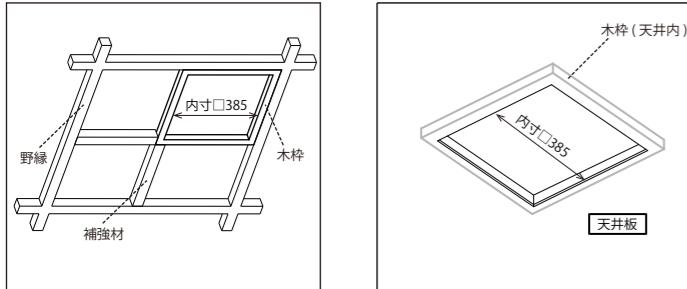
規制

- 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割を果たすものを使用しなくてはならないよう義務づけられていますので、2mの鋼板立ち上がりダクトを取り付けるか、煙逆流防止ダンパーを据付けて点検口を必ず設けてください。
- 配管用システム部材については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

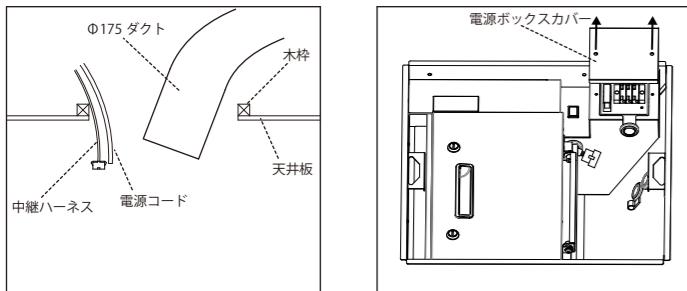
④ 据付工事のしかた

1. 設置準備

- 手順1 木枠を作り、野縁に設置します。
木枠内寸：□385mm
木枠：約 30mm 角材(1寸角)
※補強材で木枠の強度補強必要。
- 手順2 木枠の内寸と同じ□385mm の穴を開けた天井板を取り付けます。



- 手順3 φ175 ダクト、電源コード、中継ハーネスを天井面に開けた開口から引き出します。
- 手順4 吸気ボックス本体から電源ボックススカバーを取り外します。(ネジ2本外します。)



警告 ※これらの注意事項を守らない場合、重大な事故や財産の損害原因になります。

<据付工事上のご注意>

- 据付工事は、必ず二人以上で行ってください。
- 据付工事は、不安定な足場で作業しないでください。

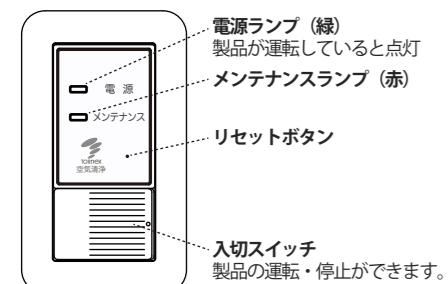
⑥ 試運転と作動確認

- ①据付工事(配線工事)が確実に完了したことを確認してください。
- ②メンテパネルが完全に閉まっていることを確認してください。
- ③吸気ボックス本体の主電源スイッチを入れてください。
- ④埋込表示スイッチの入切スイッチを押してください。
- ⑤埋込表示スイッチの電源ランプが点灯(緑)していることを確認してください。

※電源ランプ点灯(緑)以外の表示の場合は、右図の「埋込表示スイッチのランプ表示の確認」の内容を確認してください。

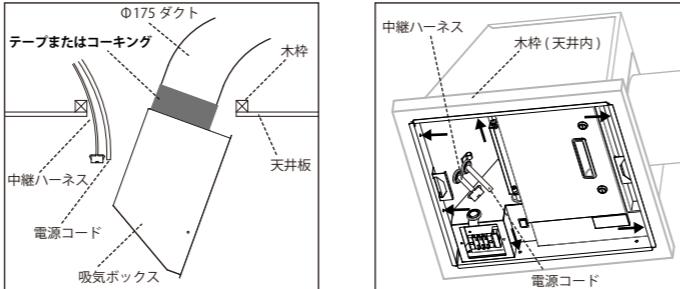
<試運転時のご注意>

- ぬれた手でスイッチを操作しないでください。
感電のおそれがあります。

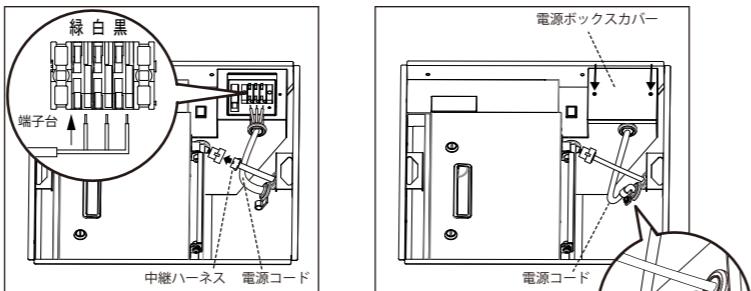


2. 吸気ボックスの設置

- 手順1 吸気ボックスのダクト接続部に、φ175 ダクトを接続します^{※1}。電源コードと中継ハーネスをゴムブッシュを通して吸気ボックス内に挿入します。
- 手順2 吸気ボックスを天井面の開口から天井内に挿入し、取付木枠に付属の M4 タッピングネジ 6 本で固定してください。



- 手順3 吸気ボックス内の端子台に、電源コードを接続し、中継ハーネスをコネクタ接続します。
(※電源コードをクランプ固定すること)
- 手順4 吸気ボックスに電源ボックスカバーを取り付けます。(ネジ2本外します。)



※1: ダクト工事上のご注意

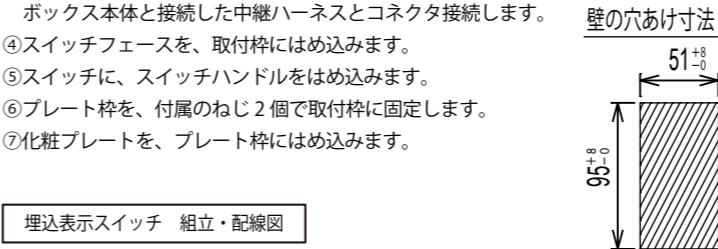
- ダクト接続部にφ175ダクトをしっかりと差し込み、風漏れのないように市販のアルミテープでテープングまたはコーキングにて接着を行なってください。
- 吸気ボックスに荷重がかからないようにダクト自体を吊上げて固定してください。吸気ボックスに荷重がかりますと結露、エア漏れの原因となります。
- 次のようなダクト工事はしないでください。(風量低下や異常音発生の原因になります。)
①鋭角的な極端な曲げ ②多数の曲げ ③吹出口のすぐそばに曲げがある
④ダクト経路の途中に極端に細い部分がある

⑤ 配線工事のしかた

1. 埋込表示スイッチの組立・配線要領

- スイッチを取付枠の下位置にはめ込みます。
- 壁に指定の穴を開け、取付枠とはさみ金具で壁を挟み、上下 2 力所をボックスねじで固定します。
- スイッチフェースの 2P コネクタとスイッチのコネクタを接続し、スイッチフェースの 7P コネクタを取付枠の内側に通し、吸気ボックス本体と接続した中継ハーネスとコネクタ接続します。
- スイッチフェースを、取付枠にはめ込みます。
- スイッチに、スイッチハンドルをはめ込みます。
- プレート枠を、付属のねじ 2 個で取付枠に固定します。
- 化粧プレートを、プレート枠にはめ込みます。

埋込表示スイッチ 組立・配線図



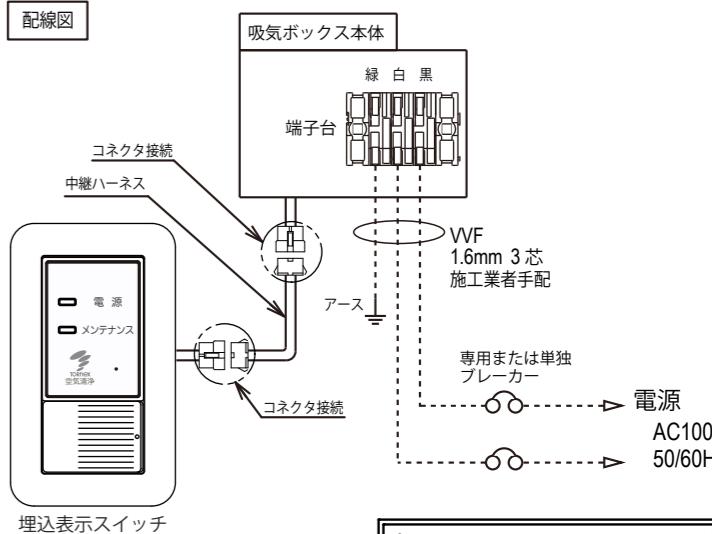
2. 配線図、配線工事上の注意

警告 ※これらの注意事項を守らない場合、重大な事故や財産の損害原因になります。

<配線工事上のご注意>

- 配線工事は、電気工事の資格のある人が行ってください。
- 配線工事前に、必ず電源を遮断してください。
- 電源の接続は、専用または単独ブレーカーを通したAC100V 50/60Hzの電源に接続してください。
- 電線は適用電線を使用してください。(VVF 1.6mm 3芯)
- アースをD種設置工事に基づいて確実に取り付けしてください。

配線図

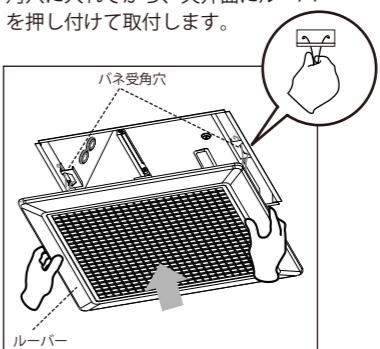


お願い
結線終了後、電源を入れる前に再度
結線が間違っていないか確認してください。

⑦ 引き渡し

最後に別売りの指定ルーバーを取り付けて作業終了です。

- 手順1 ルーバーの両側のバネをバネ受角穴に入れてから、天井面にルーバーを押し付けて取付します。



お客様に引き渡す際には、下記のことを必ず説明してください。

- 同梱されている取扱説明書の裏表紙の保証書に引渡日・設置業者様を必ず記入してください。
- 同梱されている取扱説明書で、お客様に操作方法と安全上のご注意を説明してください。
- 使用前にもう一度、取扱説明書を読んでいただくように説明してください。
- 取扱説明書を、いつでも見られる場所に大切に保存するように説明してください。

埋込表示スイッチのランプ表示の確認

修理を依頼される前に次の点をお調べください。
下記の処置をしても状況が変わらない場合は、ただちに製品本体の主電源スイッチ及び専用または単独ブレーカーを切り、お買い上げの販売店または当社カスタマーサービス部にご連絡ください。

状況	確認事項	処置のしかた
■ 電 源 ■ メンテナス	■ 緑ランプ点灯 ■ 赤ランプ消灯	正常運転中。
■ 電 源 ■ メンテナス	■ 緑ランプ消灯 ■ 赤ランプ点灯	埋込表示スイッチの入切スイッチを、1回押すとすべてのランプが消え、もう一度押すと緑ランプが一度点灯してから消灯し、その後赤ランプだけ点灯する場合。 「②付属品の取り出し」の内容を参考に、メンテパネルをコイン錠でしっかりと閉じてください。
■ 電 源 ■ メンテナス	■ 緑ランプ点滅 ■ 赤ランプ点滅	集塵フィルタが入っていないか、または正規の位置にセットされていません。 「②付属品の取り出し」の内容を参考に、集塵フィルタを正規の位置にセットし、メンテパネルをコイン錠でしっかりと閉じてください。
■ 電 源 ■ メンテナス	■ 緑ランプ消灯 ■ 赤ランプ消灯	埋込表示スイッチの入切スイッチを、何度も押してもすべてのランプが消灯している場合。 専用または単独ブレーカーが OFF になっている可能性があります。ブレーカーを ON にしてから、もう一度、埋込表示スイッチを ON してください。 製品本体の主電源スイッチが OFF になっている可能性があります。製品本体の主電源スイッチを ON にしてから、もう一度埋込表示スイッチを ON してください。

※上記処置を行った後は、埋込表示スイッチの入切スイッチを一度OFFにしてから、もう一度ONにして緑ランプ点灯(正常運転中)になっていることを確認してください。